

第10章

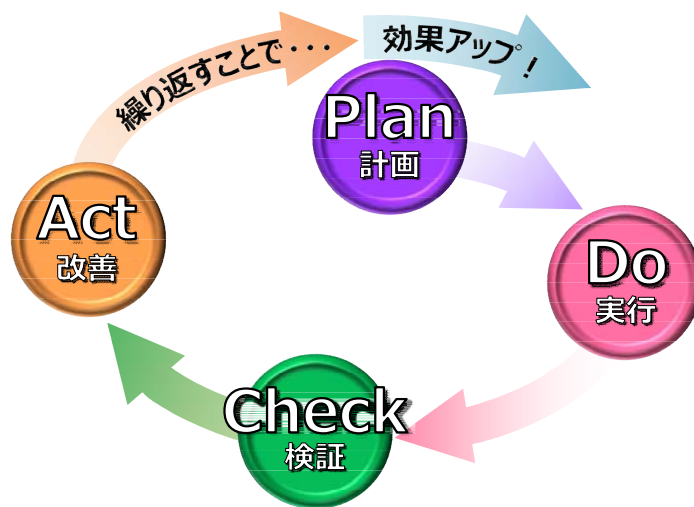
計画の達成状況の評価

本計画で設定した目標達成のための施策・事業は、社会経済情勢や利用者ニーズ、行財政の状況等の地域公共交通を取り巻く状況の変化に応じて、適宜見直し、改善を行うことが重要です。

このため、随時適切な時期にモニタリングを行いながら、Plan（計画）、Do（実施・実行）、Check（評価・検証）、Action（改善）からなる PDCA サイクルを実施し、必要に応じて施策・事業の見直し・改善を図り、計画を推進します。

なお、計画の達成状況の進捗管理、評価・検証は、尾道市地域公共交通協議会で行うこととし、年1回の開催を基本とします。

市民ニーズに係る評価指標の状況確認は、本市総合計画の市民満足度調査で確認します。



目標に対する評価指標	使用データ等	評価時期
指標①：路線バス・航路利用者の利用満足度	・路線バス・航路利用者アンケート	最終年度
指標②：収支率30%未満の路線バス系統のうち運行効率が向上した系統数	・路線バス事業者資料	毎年
指標③：路線バス等の利用圏の人口割合	・国勢調査人口データ	最終年度
指標④：路線バス・航路利用者の他の交通機関との乗り継ぎ満足度	・路線バス・航路利用者アンケート	最終年度
指標⑤：地域公共交通機関を利用しやすいと感じる市民の割合	・市民満足度調査	最終年度
指標⑥：路線バス・航路利用者の情報提供に対する満足度	・路線バス・航路利用者アンケート	最終年度
指標⑦：路線バスを全く利用しない市民の割合	・市民満足度調査	最終年度
指標⑧：観光目的の航路利用者の利用満足度	・航路利用者アンケート	最終年度
指標⑨：関係者の連携・協働による取組件数	・尾道市資料	毎年